

函西よびる

第18号
2022年6月1日

発行数：2000部
編集長：堀田正英
事務所：〒001-0045
札幌市北区麻生町
9丁目2番1-1103号

今年7月に開催予定でした「第57回 つゝじヶ丘同窓会札幌支部総会&懇親会」は、コロナ禍の影響を考慮し再度中止する事となりました。

来年6月の総会および懇親会には、同窓生の皆様方と元気にお会いできるよう期待しております。



コロナ禍「どう過ごしていますか」

札幌支部長 竹林 進(17回生)

同窓生の皆様、コロナ禍の終息が見通せないなか、どう過ごされていますか？

コロナウイルスが感染拡大してから3年目に突入し、2月初めには第6波としてコロナ感染者数は全国で1日10万人を超えた日もあり、過去最大の感染者があった第5波をはるかに上回りました。5月には非常事態宣言は解除され緩和されましたが、未だにコロナ禍は収まらず皆様は大変な日々を過ごされていることと思います。

2019年に新型コロナウイルスが発生して、その翌年あたりから「ウイズコロナ」という言葉をよく耳にするようになりました。これはコロナの長期化が予想された頃からコロナとの共生・共存を考えたように言うことです。国の考えでは、コロナ対策をしながら経済活動を止めな

いで、どこかでバランスをとりたいながら社会活動を進めるということのようにです。いま私たちのこととして考えるならば「感染防止対策をして、バランスをとりながら日常生活を送りましょう」、そして「みんなが納得した状況で進んで行きましょう」など、人々の生き方に変化を求めています。

この先、コロナの動きがはつきりと読めない中、感染防止と日常生活をどう両立させるか難しい課題を突き付けられながら、生活をして行くことになりそうです。

私自身、「コロナと共生・共存」という言葉に少し違和感を感じていますが、なかなか収まらない現状を考えますと、今はコロナの正確な情報を取り込み、正しく警戒しながら乗り越えて行こうと思うようになりそうです。

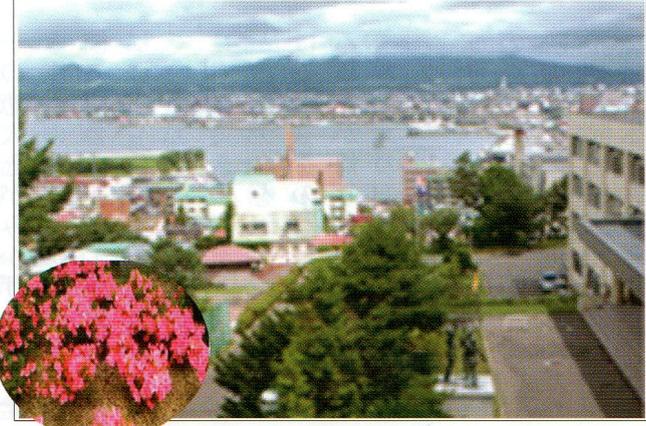
いまでも基本的な感染対策として、マスク、手指の消毒、室内の換気の徹底など、まだ必要な状況が続いています。一刻も早く自粛生活から解放され、マスクを外せる日が来てほしいと願っています。

来年こそコロナが終息し「総会&懇親会」の開催ができることを期待しています。支部会員の皆様におかれましては、引き続き「つゝじヶ丘同窓会札幌支部」へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年4月より札幌支部長として3年目を迎えました。この期間すべて新型コロナウイルスの感染期間と重なってしまい、「総会&懇親会」は令和2年度、3年度続けて中止となりました。今年度も7月9日「総会&懇親会」を予定していましたが、結論としてコロナ禍の現状等を勘案し、中止することにしました。

今年のゴールデンウィークは、全国的に感染者の減少傾向が続いたため、3年ぶりに行動制限が緩和されました。しかし、残念ながら北海道の感染者は、5月には3千人を超える日が何日もありました。

今後どう推移していくのか分かりませんが、注視していきたいと思えます。



「パークゴルフ大会」のお知らせ

「つゝじヶ丘同窓会札幌支部」では、親睦を深めるため9月2日(金)パークゴルフ大会を開催することになりました。

コロナ対策として、できるだけ3密(密閉空間、密集場所、密接場面)を避けるため、屋外で気軽にできるパークゴルフを取り上げました。

多くの同窓生のご参加をお待ちしております。

(案内は4ページ)

「森田芳光と函館」(その2)

成田 明 (19回生)

森田芳光監督函館ロケ第2作は『キッチン』(1989年)です。

原作は吉本ばななの小説『キッチン』



『満月キッチン2』のからなり1988年に出版された。1989年には年間ベストセラー第2位になり、泉鏡花文学賞を受賞し世界25カ国以上で翻訳された小説です。桜井みかげ(川原亜矢子)は幼い頃に両親を亡くして以来、二人きりで暮らしてきた祖母を亡くし、天涯孤独の身になつてしまう。葬式を終えたみかげは、いつしか、台所の冷蔵庫の脇で寝るようになっていた。そこは孤独と悲しみに揺れるみかげにとって、唯一安心できる場所だった。そんな時、祖母と知り合っていた田辺雄一(松田ケイジ)が訪ねてきて、自分のところになにかと誘われ同意する。みか

名乗るえり子(実は女装した父・橋爪功)の同居生活が始まった。心休まる場所を得たものも束の間、雄一の恋人・真美の訴えで家を出ることになる。しばらく田辺親子と疎遠になったみかげのもとに、雄一からえり子のことで連絡が入る……。小説の舞台は東京と思われるが、監督は「函館の街を架空の街にしたんですね。原作を読んだら、ある種の透明感があって、湿気を感じさせない場所を感じて、絶対これは函館だと確信したんですね。それに、すごくきちんとしたキッチンにきれいな冷蔵庫があつて、お父さんはオカマなんだけど、すごくいい家に住んでいる。そういう環境は、東京だとリアリティがない。それを函館で撮影して、しかも架空の街にすることで小説の中にあるような自分の想像する街を作ったかっただけです。なんといつてもあの空気がいい、ああいう寒いというか冷たいという感じが、都市に誰も歩いていないような空間も僕は好きなんです。そうすると、精神までも磨かれて、研ぎ澄ま

されて、セリフも変わってくるような気がしたんですね」。撮影は89年の夏、完成したのは秋で、試写会の評判が広がってから翌年に公開したかったのだが、それも拡大でなく今でいう単館系で上映したかった。ところが完成して一カ月も経たずに松竹系で全国一斉公開。だから宣伝も作品の評判もあまり伝わらないうちに公開になり、洋画系での公開を希望したが、邦画系になつてしまった。大ベストセラー小説の映画化ということでも早く公開したいという松竹の意向が強く働いたのだろう。しかしながら結果は不入りに終わった。だがビデオ化されるとよく売れたそうです。監督曰く「落ち込んだ時に一人でよく観るといふ人が結構いますよ。』ときめきに死す』と並んでかくれ人気は高いんですね。『川原亜矢子は最後のオーディションにいきなり来て、現れて一言しゃべっただけで『この子だ』と思つて決め、松田ケイジは神宮前のカレー屋で働いていたのを見に行つて決め、えり子役にははじめは美しい女優を使って、それを女装した男性に見立てることも考えたんですが、ここはやっぱり見かけよりも芝居を取り、橋爪功の演技力に

賭けた」。このキャスティングは見事に成功している。川原亜矢子はこの演技で「日本アカデミー賞」「キネマ旬報」などで新人女優賞を受賞した。映画は原作をかなり変えている。もともと変えたのは、えり子は原作ではストーカーに殺されるが、映画では精神を病んで自ら精神病院に入院する。監督は「人間が一番怖いのは死ぬことより精神が死ぬことだ」と考えていたそうです。映画は台所の冷蔵庫の脇で寝ているみかげが起きるところから始まります。そこに電車に乗ってきた雄一が訪ねて来るのですが、降りた電車が「風町」という停留所で、ここは「谷地頭」です。雄一のマンションは「北公園前」という電停で降りて北公園を通り抜けたところにあります。この「北公園前」という停留所は「函館ドック前」です。背景に塀を作り木を植えているので、ぱっと見わかりませぬが、雄一のマンションからみかげが帰るため電停に立っていると雄一が送るために車

に川原亜矢子の父親が見学に来ており、「娘に見つかると怒られるのでお願いだからここに隠れさせてください」と言つてずっと蔭に隠れていた

そうです。実は父親は大阪のマル暴の刑事で怖そうな人かか。他にも路面電車のシーンはよく出てきます。特に緑の明かりのほうに谷地頭から青柳町へ走るシーンはとても幻想的で美しい。「北公園」は「元町公園」でみかげが歩いてくる後ろに基坂が見えます。公園内にあるバラ園と花時計が出てきます、これは現在は閉園した東山にあった「函館ローズヒルバラ園」です。みかげが墓参りする墓地は、住吉町共同墓地、眼下に大森浜と津軽海峡が広がります。雄一の恋人とがみかげと対峙する屋上の背後には旧白百合高校の校舎があり、その右上奥には少しだけ西高の校舎も映っています。札幌でロケしたシーンも出てきますクラブから客とホステスをホテルに送り届ける白タクのバイトをしている雄一が帰りに通るところがススキノの十字街(車窓からマツザカヤと東急インが見えます)、みかげが元彼と会うのが「ちぎきバラ園」です。映画のラストは退院したえり子は病院の医師麦原(四谷シモン)と同棲することになり、みかげと雄一はマンションを出て一軒家(この家は外国人墓地付近の家)に引っ越し

す。新居には、祖母の家にあった冷蔵庫もキッチンにありません。でも、みかげはもうこの冷蔵庫の脇で寝ることはないでしょう。音楽はジャズピアノストの野力奏一、監督のお気に入りの曲で、台本を読んで20分で作曲したという。撮影中もずっと流していたそうです。監督が言う通り、落ち込んだ時、淋しい時に一人で観ることを勧めます。

三作目は『海猫』（2004年）、原作は谷村志穂の小説です。

谷村志穂は、1962年札幌市白石区生まれ、札幌れ、札幌西高、北海道大学農学部卒業、指導教官は森鷗外の孫森樊須でした。実は母親は函館出身です。大沼を舞台にした小説「大沼ワルツ」が縁で2015年12月より七飯町観光大使を務めています。原作の舞台は函館、南茅部と札幌です。物語は昭和32年（1957年）、昭和34年（1959年）、昭和52年（1977年）に渡る、女三代の恋愛大河小説です。谷村志穂は文庫本あとがきで、「函館には祖母が住んでいた。母に連れられ、



れ出かけるたびに出会う風景は異なっていた。特別に好きだった場所は、ハリストス正教会、港のドック、各国の文字の並ぶ外国人墓地などだった。海辺を歩けば、夜に光る鳥賊釣り船の眩いランプや、水面を飛び交う海猫たちの白い羽にも出会った。わたちの長い物語を描くにあたって、舞台は自然とここになった」と書いています。この小説で2003年に「島清恋愛文学賞」を受賞しています。映画は薫の長女美輝（ミムラ）が恋人修介（鳥羽潤）から母親が事故でなく事件で亡くなったことをどうして隠していたと責められ、婚約を解消される。事情を知らない美輝はショックで失声症になり入院する。時代は20年前に遡り、南茅部での薫（伊東美咲）と赤木邦一（佐藤浩市）の結婚式から、二人の出会いと続く、嫁いだ薫は、母タミ（三田佳子）の手紙に励まされながら、漁師の妻として船に乗り懸命に昆布漁を続け、長女美輝も生まれる。邦一が他の漁師との争いで怪我をして函館の病院に入院し看護師啓子（小島聖）と関係ができてしまう。薫は次第に邦一にない優しさを持つ義弟広次（仲村トオル）に惹かれ

ていきます。母と駆け落ちしたロシア人との間に生まれた薫の青みがかった瞳を「海猫そっくりだ」といった広次。薫は広次との子次女美哉（蒼井優）を生むが、邦一に美哉はだれの子だと問い詰められる。家を出ようとした薫は邦一の母（白石加代子）に連れ戻され監禁される。広次が薫の元に駆け付け二人で逃げ出すとして、邦一と広次が激しく争う、その時薫は崖から身を投げる、その後を広次が追う……。監督は「映画の原点とでもいいますか、風景があつて人と人が愛し合い、憎みあい、ドラマがあるというような、そんな漠然としたものが何か自分の中にあるんですよ。（中略）確かに古い小説ならいろいろあるんですけど、やはり新しい作家にそういうことを書いてもらいたいなと思っていたので、ずっとそういうものを探してました。そうしたら新聞小説の広告で谷村さんが函館を舞台に小説を書いたってことを知り、読んだらすごく映画的な小説だったんです」「ラブシーンには非常に繊細に撮りました。単に絡みということではなく、薫という女性のありようが邦一、広次という相手の男によつてどう変わっていくのか」を

深層として描きたかった。そのため、感情移入のテクニクをいろいろ使っています。テクニクのためのテクニクでは駄目です」。脚本は『失楽園』『阿修羅のごとく』に続き筒井ともみ。他の函館ロケ3作は函館を架空の街として設定していたが、本作は違います。森田作品の中でも異質な土着性の強い映画になっています。方言指導も行われています。原作は単行本で540ページもある大長編で、薫の娘たちの話にもかなりの分量が割かれている。映画では薫の世代に絞って、薫の母のタミの話は背景に、薫の子供たちの話は未来に繋げる程度にとどめ、時代設定も、映画では薫の時代が昭和50年代、1980年前後ですが、原作はもっと古い時代ですが、当時の街を再現できないものがあつて時代設定を変えています。南茅部のシーンでは赤灯台（現在はないそうです）が白尻漁港のシンボルとして度々出てきます。それにしても、佐藤浩市の昆布漁は様になっていきます。撮影の何日も前に南茅部に入って、特訓したそうです。スルメをのすシーンも出てきます。イカの耳の端を歯で噛んで、足の指で挟んで引っ張るのである。知ら

なかつた。函館で一番印象的なのは、ハリストス正教会で何度も出てきます。薫の弟孝志（深水元基）が広次の部屋を訪れたときに書きかけの絵を見つけ、そこに描かれている女性が薫にそっくりなのに気づきます。実は広次は度々教会を訪れ、聖母像のアイコンを見てマリアを薫に似せて書いていたのです。この絵は、タミ、美輝、美哉が教会を訪れたときに祭壇の前に置かれています。また、邦一の見舞いをした薫と広次が歩く坂は大坂で、その後二人でハリストス正教会に行きます。美輝が南茅部を子供の時出て以降初めて訪れ、父邦一に再会します。邦一は事件以来村八分状態におかれ、啓子と二人でひっそりと漁を続けていた。美輝が父に「まだお母さんのこと恨んでいる、許せないでいる？」と聞くと、邦一は「今年のまだ寒いとき、船が転覆し遭難しかけた。船にへばりついていたら、眠くなってきたとき、海猫のなき声が聞こえ、それが薫の声に聞こえた。俺は薫に救われた」と話します。映画の終わりで、美哉が函館港を見下ろす外国人墓地を訪れ、そこに薫と広次の墓を見つけます。墓には八端十字架の下に二人の名前

なかつた。函館で一番印象的なのは、ハリストス正教会で何度も出てきます。薫の弟孝志（深水元基）が広次の部屋を訪れたときに書きかけの絵を見つけ、そこに描かれている女性が薫にそっくりなのに気づきます。実は広次は度々教会を訪れ、聖母像のアイコンを見てマリアを薫に似せて書いていたのです。この絵は、タミ、美輝、美哉が教会を訪れたときに祭壇の前に置かれています。また、邦一の見舞いをした薫と広次が歩く坂は大坂で、その後二人でハリストス正教会に行きます。美輝が南茅部を子供の時出て以降初めて訪れ、父邦一に再会します。邦一は事件以来村八分状態におかれ、啓子と二人でひっそりと漁を続けていた。美輝が父に「まだお母さんのこと恨んでいる、許せないでいる？」と聞くと、邦一は「今年のまだ寒いとき、船が転覆し遭難しかけた。船にへばりついていたら、眠くなってきたとき、海猫のなき声が聞こえ、それが薫の声に聞こえた。俺は薫に救われた」と話します。映画の終わりで、美哉が函館港を見下ろす外国人墓地を訪れ、そこに薫と広次の墓を見つけます。墓には八端十字架の下に二人の名前

がローマ字で刻印されている。「キッチン」では住吉町共同墓地が出てきましたが、両墓地は函館山の麓の両側に位置する墓地です。私には「立待岬」と「穴間（現在は立入禁止）」の両海水浴場を思い起こさせます。筆者が文庫本あとかきで書いていたように、函館の好きな場所「ハリストス正教会」「外国人墓地」を監督は巧みに映画に登場させています。最後に「島瀬恋愛文学賞」の選考委員でもあった小池真理子は文庫本解説でこう書いています。「一言でいえば、これはなんとも悩ましく瑞々しい、色香に満ち満ちた作品である色香、などと書けば誤解が生じるかもしれないが、私たちはここまで色っぽい小説にはめったにお目にかかれない、と言っても過言ではないだろう。作者自身が否応なしに孕んでいる色香（＝本人でさえ気づかずにいる何か）が、さしたる計算もないまま、純朴に小説の中に表現されている。『海猫』の魅力は総じて、そこにこそある」と。残りの一本『わたし出すわ』は次号となります。

つじヶ丘同窓会札幌支部役員
任期：2022年4月～2024年3月

相談役	白畑 力	6 回生	幹 事	林 寿正	21 回生
	加藤 聖子	6 回生		山内 美雪	21 回生
支部長	竹林 進	17 回生		伊藤 公子	22 回生
副支部長	戸根谷 法雄	21 回生		山田 裕之	23 回生
	堀田 正英	24 回生		中原 博政	24 回生
事務局長	成田 明	19 回生		渋谷 亘	26 回生
幹 事	浅野 元広	18 回生		菩提寺 孝幸	33 回生
	池田 隆	18 回生		竹内 直樹	38 回生
	浜野 敏美	18 回生		西川 卓見	38 回生
	菅井 俊樹	19 回生	監 事	今川 かおる	23 回生

つじヶ丘同窓会札幌支部 パークゴルフ大会

- 開催日時 9月2日(金) 12時30分集合、13時スタート
雨天等で中止の場合は 9月16日(金)に順延
- 会 場 「札幌パークゴルフ倶楽部 福移の杜コース」
(札幌市北区篠路町福移 154-3) ☎011-374-8000
- 定 員 40名(先着順、10名未満の場合は中止)
- 参加料 2,300円(プレー代、貸クラブ・ボール代、含む)
※クラブ・ボール持ち込みの方は 2,000円
- 申込み先 電話・FAX:011-616-3221(池田)
メール: nishiko@tsumsuiigaoka.net
- 締め切り 6月25日(土)
- 賞 品 優勝・準優勝・3～5位・ホールイン賞・プービー賞
- アクセス
 - ① 車 : 駐車場(約230台)
 - ② バス: 中央バス北札幌線東69(地下鉄環状通東駅→酪農団地)
 - ③ JR : あいの里教育大学前(希望者は車で送迎します)
- その他
 - ① コロナ感染予防のため、プレイ中もマスク着用。
 - ② 飲食類は各自用意願います。クラブハウス(売店・食堂)あります。
 - ③ 平日のため、参加が難しい方もいると思いますが、今回の結果を踏まえ来年度以降の開催を検討します。




【編集後記】
今年も残念ながら支部総会および懇親会が未開催となりましたが、何とかならうと思いましたが、今回は成田明さんから前号の続編となる函館を舞台とした映画監督にまつわる奥深い膨大な書き物を寄稿していただきました。心より感謝致します。コロナ禍によって日常生活が様変わりしての街並みや、高校時代の懐かしみ思い出してみたい。引き続き同窓生皆様からのお申し込みお待ち致しております。 (編田正英)

～2021年に寄せられたメッセージ～ (敬称略)

- 平田 貞 (昭20) いよいよ有難うございました。
- 部司 慶子 (西2) つじヶ丘同窓会会報ありがとうございます。
- 長谷川六利 (西2) この年に(87歳)なっても西高の思い出に支えられて生きています。
- 藤原 憲司 (西4) 会計報告も今後とも十分検討の上でお願いします。
- 堺 ゆき子 (西4) 会報にて久松由貴子様の逝去の知り心よりお悔み申し上げます。総会の折にはいつもお声をかけて下さり寂しゅうございます。
- 金丸順太郎 (西5) 料金は各自負担にしたらどうでしょう。
- 中川 明生 (西5) 元気しております。
- 原谷 幸夫 (西6) 幹事の皆様ご苦労様です。今年も残念乍ら流会です、外出を控えています。次回こそは盛会を。
- 井上 忠純 (西6) 仲間が病や死亡で減ってきました。淋しい次第です。
- 中村 紀子 (西6) 支部長様、係の皆様お世話になっております。83才になりましたが、まだ元気になっています。西高からの坂道、いつも思い出しております。
- 中川 誠 (西6) 会のご発展を祈念致します。
- 齊藤 征康 (西6) コロナの終息を願ひ皆様と会食できることを念じています。
- 藤田 治介 (西7) 散歩、多病息災
- 加藤喜代子 (西7) コロナ禍のなか御苦労さまです。どうぞ御自愛下さいませ。
- 小野寺直樹 (西8) いつもお世話になり厚くお礼申し上げます。
- 亀井千草子 (西8) 元気に過ごしております。月に10回軽い運動(カーブス)に行ってます。
- 石子 彰培 (西9) 昨年の総会では4回生が最年長でした。元気です。諸先生、後輩の皆様のご健勝をお祈りいたします。
- 堀口 耕一 (西9) 幹事役員の皆様、ご尽力を感謝申し上げます。
- 山崎 弘美 (西10) いつも会報ありがとうございます。転居しましたので変更お願いします。
- 田上 耕三 (西12) コロナウイルス感染者減少傾向になってきました。以前の生活が一日も早く戻れますよう祈っています。
- 前田 和子 (西12) 佐藤泰志作品の映画を観て来る事が出来ました。亡き弟と同期だったのでも喜んでおります。
- 田中 朋子 (西13) いつもありがとうございます。
- 渡辺 功 (西14) 一日も早くコロナ、収まればいいですね。
- 荒明 洋 (西15) 役員の皆様ごころう様です。「函館の啄木と妻節子」「森田芳光と函館」とても良かったです。
- 藤原 順子 (西16) 会報ありがとうございます。「啄木と妻節子」の記事興味深く拝見しました。書いてくださった長谷川様に感謝申し上げます。
- 福島 暎子 (西17) 皆様のご健康をお祈りいたします。
- 池田 隆 (西18) コロナウイルス感染、何々収束しませんね。来年7月の総会懇親会を楽しみにしております。
- 河島 秀治 (西19) コロナ終息後パークゴルフ大会なるものをお願いしたい。
- 澤田 恭子 (西19) いつもありがとうございます。
- 青木 幹則 (西19) この度東京支部から転入させていただきました宜しくお願ひ致します。
- 山吹 珠江 (西21) コロナ禍が早く終息して平安な日常と自由な行動が出来ます様に願っております。
- 森田 志信 (西22) 役員・幹事の皆様いつも御苦労様です。総会議案承認です。
- 伊藤 公子 (西22) 来年の同窓会総会を楽しみにしています。
- 大坂 真弓 (西26) 役員の皆様、お世話様です。そして、お世話になります。
- 渋谷 亘 (西26) いつも本当にありがとうございます。
- 田中 剛史 (西29) 支部役員の皆様、ご尽力いただきましてありがとうございます。
- 和川 範子 (西32) すいません、昭和38年生まれです。何回生か失念しました。
- 小山 亜由 (西37) 校章入りクッキーを早く食べたいです。